

# 共生の時代

みどりの地球を  
みどりのままで

2015 1月

発行：グリーンコープ共同体理事会  
編集：共生の時代・編集部  
〒812-8561  
福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号  
博多大博通ビルディング3階  
TEL092(481)7923  
FAX092(481)7876  
<http://www.greencoop.or.jp/>

## Contents

生活困窮者自立支援 全国ネットワーク設立	2
みやさき発 「体感しよう!綾」	3
互恵のためのアジア民衆基金 第五期通常社員総会	4・5
米国のnon-GMトウモロコシ 生産者視察	
2014年度 酪農生産者交流会	6
グリーンコープの輪・和・環 グリーンコープ生協おかやま 大脇 望さん	7
別紙にて、「放射能汚染と向きあう (放射能測定室より)」を掲載	

# 人と人が連携して支えあう社会は グリーンコープが目指す未来

—グリーンコープは、生活困窮者の自立支援に  
能動的に取り組んでいます—

厳しい経済状況の中、格差が広がっています。様々な問題を抱えて社会から孤立し、生活に困窮する人たちが急増しています。グリーンコープは、今から10年程前、ホームレス者の問題を考える中で、生活協同組合ができることとして多重債務問題に取り組み始めました。2006年に始めた「生活再生事業」は、多重債務者の生活再生を支援する取り組みです。現在山口、福岡、長崎、熊本、大分の5県に生活再生相談室を設置しています。4月から全国でスタートする生活困窮者自立支援制度の支援策の一つに「家計相談支援事業」があります。この事業はグリーンコープの生活再生相談室の取り組みがモデルとなっています。グリーンコープのこれまでの実践が認められたものです。現在グリーンコープでは、制度施行を前に、モデル事業や家計相談支援員の育成などに取り組んでいます。

**生活困窮者自立支援制度とは**  
従来は、福祉や医療など、内容毎に分かれていた相談窓口を一つにし、行政や民間組織が連携して、生活困窮者を包括的に、継続して支援する制度です。  
官民のネットワークを活かしながら、生活困窮者本人の自己選択、自己決定に寄り添った支援を行い、その人らしい自立を実現することを目指します。

## グリーンコープの「助けあい、支えあい」を広げよう



田中 裕子さん  
グリーンコープ  
共同体代表理事

**格差が広がる社会**  
今日の日本の厳しい状況が、毎日のように報道されています。子どもへの虐待だったり、ひきこもりだったり、孤独死だったり、悲しいニュースが後を絶ちません。また、日本の子どものうちの6人に1人が満足に食えることができていないとも言われています。労働者の4割が非正規雇用で経済的な困難を抱えている状況もあります。

**日常の関係性が問われる**  
一世代前の日本では、隣近所や親戚、地縁血縁のつながりがありました。お節介な一面があったとしても、お互いに声を掛ける。助けあい、支えあいの関係性が問われる。助けあいが、助けあいを必要とする人への助けあいを生み出す。助けあいが、助けあいを必要とする人への助けあいを生み出す。助けあいが、助けあいを必要とする人への助けあいを生み出す。

**支援のノウハウを活かして**  
日常の関係性が断たれている人がたくさんいる。現実に、新制度の成立により、ようやく手が差し伸べられるのだと思いが、解決に向かうための必要な支援につながる。関係性が相談窓口に求められています。グリーンコープの生活再生相談室では開設当初から、相談者が生活を立て直すよう伴走していく相談支援が行われてきました。これまで培ってきたグリーンコープの助けあいが、新制度によって社会にも広がっていくという感慨があります。

**できることから始めよう**  
この制度は、次の世代を担う子どもたちが、希望を持って生きていく社会をつくることに繋がります。組合員皆で社会の現状を知り、学んでいく機会もつくっていきたくと思っています。私たち一人ひとりが、自分に何ができるのかを考えていかなければならないと思います。

**チェック!** あけましておめでとうございます。今年も元気にグリーンコープを伝え、仲間を増やして、いろいろなことに取り組んでいきたいと思っています。今年もよろしくお願ひします。

# 官民でネットワークを広げ 新制度を育てていこう



奥田 知志さん

NPO法人 抱樸 理事長  
社会福祉法人グリーンコープ 副理事長  
生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事の一人

私がホームレス支援を始めた1988年頃は、日本の労働者の8割以上が正規雇用者でした。しかし26年経ち、現在は4割が非正規雇用者と言われる不安定な社会です。そのような状況の中で、支援によって自立できても、再び困窮状態に戻ってしまう可能性も大きく

なっています。経済的困窮がすすめば当然社会的孤立も深まります。現金給付などによって目に見える問題を個別に解決するだけでなく、人と人との関係や存在そのものの支援が必要だと思えます。今回の制度では経済的困窮だけでなく社会的孤立の解決に重きがおかれています。他の人との関わりの中で、私たちは初めて生きる意味や働く意義を見出すことができるのだと思います。自立とは、独りで生きていくことではなく、様々な支えあいの人間関係の中で生きることなのです。そ

生活困窮者自立支援制度は、困窮者支援を通して、自分たちが暮らす社会を、自分たちの手で、より良いものに変えていく仕組みでもあります。今後は生活困窮者自立支援全国ネットワークとして、そのための政策議論や提言を行っていきたくと考えています。

# 家計相談支援の先駆者として ノウハウを全国に 広めていきたい



行岡 みち子さん

グリーンコープ連合常務理事  
生活再生事業推進室 室長  
生活困窮者自立支援全国ネットワーク事務局長

生活再生相談室では、相談者に寄り添った丁寧な相談を心がけています。信頼関係を築きながら、将来への見通しを立て、解決に向けて相談者に伴走していきます。相談と貸付をセットで取り組むので、貸し倒れが非常に少ないというの大きな特長です。

相談の前提として大切にしてきたのは、相談者の主体を尊重するということ。相談を受ける相談員は相談者と一緒の家計表を作りながら、相談者本人が自分の家計の現状を把握し、どのように生活するかを自己決定できるように支援していきます。つまり、家計の現状に気付くことにより、収入増に努めたり、生活費の見直しをしたり、本人自身が家計の視点から生き方や生活のあり方を見直すことを支援します。長いお付き合いになります。長いお付き合いになります。長いお付き合いになります。

熊本市と大分県でも、自治体から受託してモデル事業に取り組んでいます。新制度がより良いものになり、真に困窮者支援に役立つよう、これから家計相談支援の重要性を広く伝えていきたいと考えています。

## 一般社団法人「生活困窮者自立支援全国ネットワーク」設立

新しい制度をより良いものにしていこうと、グリーンコープをはじめ、生活困窮者の支援事業に関わる人たちが立場を越えて広く集まり、2014年11月8日、「生活困窮者自立支援全国ネットワーク（以下、困窮者支援全国ネットワーク）」が設立されました。

兵庫県西宮市内で開催された設立総会には、16人の設立発起人のほか、200人近くのオブザーバーが会場を埋め尽くしました。新しい制度への期待と熱気に溢れる中、来賓の厚生労働事務次官

村木厚子さんは次のように挨拶しました。「生活困窮者自立支援制度が成功するかどうかは、この制度を本気にならなければ育つ人たちがどれだけ育つかということにかかっていると思います。これまで現場を支えてきた皆さんの発案でネットワークが立ち上がり、行政や研究者も加わって官・民・学が協働して新しい制度を育てていくという、本当に意義のある活動が始まりました。深く熱く語りあい、知恵を出しあい、明日からのエネルギーを補充でき

る場として、困窮者支援全国ネットワークが育っていくことを期待しております。総会終了後、困窮者支援全国ネットワークの初めての活動として、「第1回生活困窮者自立支援全国研究交流大会」が開催されました。2日間に亘る大会には、法律が制定される以前から生活困窮者の



厚生労働事務次官の村木さん



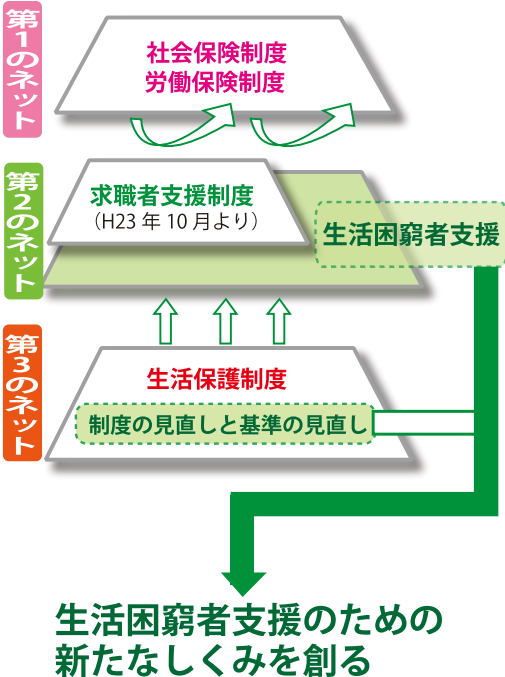
第1回の全国研究交流大会の様子

### 制度が誕生した背景

これまでの日本は、安定的な雇用を土台とした社会保険制度や労働保険制度（第1のセーフティネット）が十分機能していました。そのため生活保護制度（第3のセーフティネット）によって補うことで、国民に安定した生活を提供できていました。

しかし経済状況の悪化により安定した雇用が失われた今、生活困窮の原因が多様化・多重化しています。もはや既存の仕組みだけでは国民生活を支えることができなくなっているのが現状です。

生活保護に至る前の段階から早期に支援を行う第2のセーフティネットとして、この制度が誕生しました。



「生活困窮者自立支援全国ネットワーク」とは  
生活困窮者自立支援制度の本格実施に向けて、すでに地域において生活困窮者支援に携わってきた人々、当事者、学識経験者などが設立した組織。新制度に関わる人材がネットワークを結び、共に学び支えあい、連携して政策の推進を図っていくことを目的としている。随時、会員を募集中。詳しくは、ホームページで。  
<http://www.life-poor-support-japan.net/>

理事 岡崎誠也(高知市長)  
宮本太郎(中央大学教授)  
奥田知志(NPO法人抱樸理事長、他8名)  
監事 駒村康平(慶応義塾大学教授)  
事務局 行岡みち子(グリーンコープ連合常務理事)



### 綾町の豊かな自然が育む食べもの

宮崎県のほぼ中央に位置する綾町は、1988年に「自然生態系農業の推進に関する条例」を制定し、本格的な有機農業による町づくりに取り組んできました。2009年には九州で初めて「GMOフリーゾーン宣言」をしています。

※遺伝子組み換え作物を作らない地域を広げる運動



綾町とグリーンコープ生協みやざきの合同企画「体感しよう！綾」が2014年11月15日に開催されました。当日は晴天に恵まれ、組合員とその家族58人が元気に参加しました。生産者との交流や体験など盛りだくさんの内容で、大人も子どもも一日楽しめるツアーとなりました。

### 生産者と組合員が 出会うつながる

綾町との交流が今年度10回目を迎えるにあたり、その位置づけや目的が「組合員と生産者・メーカー」と互いに出会い交流する場」と改めて確認されました。これまでの「綾ツアー」を継承しつつ、グリーンコープ生協みやざきと綾町との新たな交流企画となりました。



グリーンコープ生協みやざき 永野理事長

豊かな自然に恵まれた綾町では、グリーンコープの産直生産者やメーカーが日々食べものづくりに励んでいます。永野理事長は「今年度は、綾町との共催となり、4月に実行委員会を立ち上げました。今まで培ってきた

「普段カタログで見た利用している商品を、誰がどんなところで、どのようにして作っているのかを知って、グリーンコープの商品がもっともっと好きになってもらえたらうれしいです」と永野さん。今回の交流企画には募集人数を大きく上回る参加申し込みがあり、抽選になったほど。参加した組合員は綾町やグリーンコープの生産者やメーカーと出会い、見て、食べて、体験することを通して、顔の見える関係を実感できる取り組みとなりました。

実行委員長の宮原さんは「みやざきの組合員とご家族に、自分たちの住んでいる地域の近くにある綾町の取り組みを知ってもらい、グリーンコープの生産者・メーカーの皆さんと交流して、産直の素晴らしさを体感できるような企画を検討してきました」と思いを



### 綾豚会飼料工場見学

産直豚生産者 綾豚会の江島さんから、安心・安全な飼料について話がありました。1986年に完成した綾豚会の飼料工場には、3トンの飼料をまぜる攪拌機と飼料タンク14基が装備され、会のメンバーに安全な飼料を提供しています。

### しょうがの収穫体験

産直青果生産者 綾菜会の北野さんの圃場で、生産者に指導を受けながら、しょうがを引き抜き、葉をハサミで切り取ってカゴに入れる作業に汗を流しました。



### 玄米酢の仕込み体験

赤とんぼ米の純米酢と玄米酢のメーカー大山食品で、玄米酢の仕込みを体験しました。玄米が炊き上がるのを待つ間、大山社長から酢作りの基礎講習を受けました。炊き立ての玄米を冷まし麹を混ぜ合わせて甕に入れ、さらに水を入れる仕込みの作業をしました。



実行委員長 (商品おすすめ委員長) 宮原さん

語りました。「普段カタログで見た利用している商品を、誰がどんなところで、どのようにして作っているのかを知って、グリーンコープの商品がもっともっと好きになってもらえたらうれしいです」と永野さん。今回の交流企画には募集人数を大きく上回る参加申し込みがあり、抽選になったほど。参加した組合員は綾町やグリーンコープの生産者やメーカーと出会い、見て、食べて、体験することを通して、顔の見える関係を実感できる取り組みとなりました。



グリーンコープ生協が 理事長 田中 裕子

これまで私は20年余り家族や周りの人たちの理解と協力で、何の心配もなく楽しく組合員活動を続けてきました。そのことに、常日頃、心から感謝しながら、多忙な日常のなかで、いつの間にか、そのことが当たり前になっていたのかもしれない。

グリーンコープの良さを伝え、仲間を増やすことを積極的に行うことや、自分自身を表現できる組合員活動を続けていける幸せは、自分ひとりの想いで出来ることではないこと、周りの人の協力に心からの感謝を忘れず、何より自分自身と家族の心身の健康が大切なことを改めて感じた昨年でした。その中で、今日一日を精一杯生きる、生きていること自体に感謝する、そのことでしか、前にすすめないことを思った一年でもありました。今年はそのことを心において過ごしていきたいと思っています。



### 参加者の感想

初めて参加しました。無理のないスケジュールで一日楽しめ、とても貴重な体験をしました。



### 生産者より

綾菜会会長 小田さん

組合員の皆さんと生産者が直に顔を合わせ食事をしながら話せたことで、つながりがいっそう深まったように感じます。今後もおいしくて安全な食べものを皆さんに届けたいと思います。



### 酢メーカー 大山食品

1930年の創業以来、昔ながらの「甕仕込み」で屋外発酵により約1年をかけた玄米酢を製造。赤とんぼ米の純米酢は、グリーンコープ生協みやざきとの開発品

### 冷凍野菜メーカー 綾・野菜加工館

産直野菜を中心に、冷凍の野菜を製造、出荷している

### 産直青果生産者 綾照葉会 綾菜会

土作りにこだわり、除草剤を使わず、安心して食べられる野菜を生産している



### グリーンコープをアピール

定期予約品のアピールとびん牛乳の試飲

### きのこ生産者 宮崎産業

殺菌剤を使用しない安全でおいしいきのこを栽培している。エリンギなどを出荷している

### 産直豚生産者 綾豚会

グリーンコープとの取引は30年以上。産直豚肉をはじめハム・ソーセージ加工用の豚肉を出荷。安全・安心なエサを食べて健康に育った豚は臭みのない良質な脂肪の旨みが特長

食文化交流会では各生産者が試食を準備して自慢の商品をアピールしました

# 人々が自立して生きていくための助けあいを広げよう

20年余に亘る民衆交易を経て設立した、一般社団法人互恵のためのアジア民衆基金(以下、\*APF)は5年を経過しました。2014年11月3日、第五期の社員総会は、3カ国、10団体の参加のもとパレスチナ・ヨルダン川西岸地区、ラマラ市で開催されました。中東の緊張関係の中で参加できない国もありましたが、グリーンコープからは、組合員など4人が参加しました。

第五期通常社員総会の審議と融資団体の取り組みのようすを紹介しま

**11月3日の第五期通常社員総会のようす**

パレスチナでの開催はパレスチナの仲間への連帯の証

総会の冒頭、APF会長の藤田和芳さん(株大地を守る会社社長)は次のように挨拶しました。「私たちの仲間であるパレスチナの人々の故郷、ガザ地区がイスラエルによって攻撃を受け、多くの女性や子どもたちが傷つき、死んでいくということが連日のように報道されました。すべての国の人たちは平和な生活が保障され、誇りを持って生きる権利を持つています。アジア民衆基金は参加するすべての国の市民が助けあうことを目的として設立された組織です。お互いに平和であることを願い、自立して生きるために助けあうことがアジア民衆基金の精神です。総会開催をパレスチナで行っているという意味を考え、素晴らしい総会にしましょう」。

それぞれの地域に寄り添った支援をしていく

議事に従って議案が検討され、その中で、APF副会長の行岡良治さん(グリーンコープ共同体顧問)は、「APFは、必要な支援先には資金の融資だけでなく、融資事業成功のために現地に寄り添い、現地とともに汗をかくていくことが必要。加えて支援する地域や人々にこれまで以上に寄り添った融資を担っていくこと



めに幹事社員制度を導入すること」を提案し、確認されました。

具体的には、フィリピンのATC、インドネシアのATINA、パレスチナのPARC・UAWCが幹事社員として、それぞれの国・地域で現地の人々に直接融資を行い、その経済的な自立を図る営みが開始できるよ

うになります。幹事社員制度が機能し、事業の成功事例を積み重ねていくことができれば、単なる金融業ではない、現地に寄り添い、現地とともに歩むアジア民衆基金を実現していくことができるはず

一方、パキスタン、東ティモール、インドネシア領パプアについては融資するだけでなく、経済的な自立を図っていくためにAPF事務局が現地の事業に寄り添って、事業的に成り立つところまで必要な支援を行っていくことが確認されました。

**2014年度も必要な融資を実施します**

2013年度までの基金造成の状況から、2014年度の3500万円の融資枠が決まり、新規融資を募集したところ、2月本日から着手して

APFの融資で進められている事業が、アジア各地の人々の自立につながっていくこと、幹事社員制度によってAPFは間違いなく脱皮できると考えられます。これから1年にしていく

## アジア各地の社員の融資団体の取り組みのようす

**ATC (株式会社オルター・トレード/フィリピン)**

フィリピン・ネグロス島でサトウキビを有機栽培で生産するための融資を行っている。現在6つの生産者団体に融資を行い、収穫量は減ったが、収益は上がり、分配金を出すことができた。新たに7つの生産者団体に融資をしていきたい。

**CORDEV (農村発展のための協同組合/フィリピン)**

北部ルソンでの森林保全と多様な農業生産を図るための椎茸生産パイロット事業。事業を通して農家の研修と椎茸栽培の普及をめざしたが、土地の選定が不適切で失敗し、返済が困難となる。

**KSI ("泉湧き出でて大河となる"研究所/東ティモール)**

養鶏事業は、取り組んだ生産者のところで病気が発生し、出荷できない状況が続いている。グリーンコープの産直たまご・若鶏の生産者でもある秋川牧園が現地で指導を行い軌道に乗るかに見えたが、担い手の問題などで養鶏事業を継続できなくなった。新たに養鶏事業を立ち上げていく予定だ。

**委員会)**

0~400m低い土地で... ナツメヤシ... 増やすことができた。... 融資金で... ベルギー、ドイツ...

**ATINA (株式会社オルター・トレード・インドネシア)**

ATINA従業員組織、ロストラムは組合員の出資とAPF融資を活用して、主要食品や日用品の共同購入事業をしている。また、小規模融資制度を作って、必要な時に組合員がお金を借りて使えるようにしている。さらに、エコシユリンプの養殖池を個人で経営できるように支援しているが、天候不順や病気の影響に加えて、地元住民との協力体制が築けず、養殖事業はうまく進んでいない。

**ATFI (オルター・トレード財団/フィリピン)**

**AVDFI (アラー・深谷開発財団/フィリピン)**

融資を受けて、ミンダナオ島レイクセブにギフトショップ(土産店)を10月30日にオープンした。市場調査をして商品を仕入れ販売している。これは、先住民の土地の活用や管理に先住民自身が参加できるようにするために取り組んでいる。

**YPMD (パプア農村コミュニティ発展財団/インドネシア領パプア)**

チョコレートの原料であるカカオ豆をパプアの人々が収穫、集荷、加工して日本に輸出し、製品化に成功。これを安定的に行っていく仕組みづくりのための融資の申請を検討している。





酪農生産者交流会・熊本県菊池市

産直びん牛乳を次の世代につないでいきましょ

グリーンコープでは年に2回、組合員がびん牛乳のふるさとを訪ね、non-GMO牛乳生産者会との交流を続けています。2014年12月3日、今年2回目の酪農生産者交流会に、組合員、生産者、メーカーなど40人が集いました。交流会では、母牛の乳房を拭くタオルやせっけん、単協で集められた生産者へのメッセージを届け、女性部会の皆さんと交流しました。交流会と牛舎見学の様子を報告します。



グリーンコープでは年に2回、組合員がびん牛乳のふるさとを訪ね、non-GMO牛乳生産者会との交流を続けています。2014年12月3日、今年2回目の酪農生産者交流会に、組合員、生産者、メーカーなど40人が集いました。交流会では、母牛の乳房を拭くタオルやせっけん、単協で集められた生産者へのメッセージを届け、女性部会の皆さんと交流しました。交流会と牛舎見学の様子を報告します。



組合員から生産者へ思いのつまったメッセージが多数集まり、生産者に届けられました

組合員、生産者、メーカーが顔を合わせる交流会

貴重な「びん牛乳」であることを伝える

冒頭のあいさつでは、グリーンコープ生協がの牧田さんが、「びん牛乳の供給は大変厳しい状況が続いています。私たちは、10月28日の『びん牛乳スタート集会』で、食べものとしての牛乳の良さ、素晴らしさを再確認できました。今日の交流会、視察で感じたことを皆さんの組合員に伝えて利用拡大につなげていきたいと思います」と参加者に呼びかけました。生産者を代表して永田さん(non-GMO牛乳生産者会委員長)からは、「私も毎年この交流会を楽しみにしています。この時期は、年に2回付けをする飼料用トウモロコシの収穫の真最中で忙しいですが、皆さんとの交流を楽しみにしている他の生産者と共に参加しました。良い交流会になりました」とあいさつしました。

共同商品おすすり委員長の阿部さんは、「こんなに美味しいプレミアム牛乳が飲める組合員は幸せです。牛乳は人にとって必要な栄養をたくさん含む食品です。生命を育む食べものなんだということをもつと伝えていかなくてはならないと思います。びん牛乳メーカー雪印メグミルクさんの製造技術や品質管理のための努力もあります。びん牛乳の保冷のためにびんを入れる容器を冷蔵で管理している工場は他にはないそうです。長い年月をかけて作りあげたびん牛乳を、皆の思いを一つにして、これからも守っていきましょ」と呼びかけました。



「2万4221枚のタオルが各単協から集まりました」とぶくおかの服部さんから目録が手渡されました



「このせっけんでタオルを洗ってください」とやまぐちの佐々木さんからせっけんが手渡されました

りますが、家族皆で頑張っています。保育園に通う娘もびん牛乳が大好きで、市販の牛乳は美味しくないと言っています。味を覚えていく子どもの頃の食べものは大事かもしれないと、母親としての思いも語りました。生産者の石田さんは、「飼料価格が高騰し厳しい現状ではありますが、たくさん飲んでいただいていることに感謝しています。先日の『びん牛乳スタート集会』に参加した後、生産者としても利用の輪を広げていかなければいけないと皆で話しました。

雪印メグミルク(株)の石井さんは、「この夏の猛暑に負けず、高品質の原乳を作っていたいた生産者に感謝しています。グリーンコープの組合員さんには、乳房を拭くためのタオルを贈り続ける思い等、びん牛乳に対する熱い思いを感じています。安心・安全なびん牛乳を共に作っていきましょ」として、工場

「西本ファーム」西本さんに話を聞きました

私の牛舎では、子牛から乳牛まで一貫して育てて搾乳しています。牛舎内では放し飼いなので、牛が転んで足をけがすることがないように足元に牧草を敷くなど気を付けています。餌の飼料米とトウモロコシは近隣の畑で生産されたものです。収穫は自分たちで行います。その後サイロ詰め、餌づくりなど忙しい時期もありますが、こだわりの生乳を作る仕事を親の代から引き継ぎ、少しずつ牛舎を広げました。



西本さんに牛の健康管理について話を聞く組合員



No.77

グリーンコープの市民による発電所づくりーグリーン電力出資金へ参加の呼びかけー

グリーンコープでは、原発の持つ危険性や放射能が人間の身体に及ぼす影響などについて、たくさんの学習を重ねてきました。

危惧していた原発事故が起これ、もう電気を原発には頼りたくない、電気も自分たちの手でつくりたい。原子力という危険で人間の手に負えないものではなく、私たちが安心して食べられる食べものを自分たちの手でつくってきたように、地球の存在とともにそこにある自然エネルギーでつくりたいという思いで、市民発電所づくりに力を入れて取り組んでいます。

私たちにできることは、節電やエコライフを心がけ市民発電所をつくるために必要な建設資金を出し合うことです。

「未来の子どもたちに自然エネルギーの安全な電気を使ってほしい」。グリーン電力出資金へ一人でも多く参加し、私たちの思いを実現させていきたいと思います。

グリーンコープ共同体組織委員会

グリーンコープ・グリーン電力出資金

7,601人 825,032,000円 (2014年11月29日現在) 自然エネルギーによる市民発電所をさらにひろげていくためにグリーンコープ・グリーン電力出資金に協力しましょう

神在太陽光発電所売電量

2014年11月 75,680kWh 定格出力1,057kW(280世帯相当) 2014年4月からの累計は910,320kWh

若宮物流センター太陽光発電所売電量

2014年11月 2,333kWh 定格出力47kW(13世帯相当) 2014年4月からの累計は36,673kWh

広島物流センター太陽光発電所売電量

2014年11月 3,294kWh 定格出力47kW(13世帯相当) 2014年5月からの累計は32,347kWh

グリーンコープやまぐち生協西部地域本部太陽光発電所売電量

2014年11月 4,287kWh 定格出力54kW(15世帯相当) 2014年9月からの累計は15,488kWh

一般社団法人グリーン・市民電力から

ひろがれ!私たちの発電所

2基目となる深年太陽光発電所(宮崎県東諸県郡国富町)の建設についての記者会見(2014年11月12日)には、九州電力による再生可能エネルギー発電設備の接続申込の回答保留という措置がなされている中で、市民による太陽光発電所の建設とあって、地元のテレビ局や新聞社をはじめ複数のマスコミから高い関心が寄せられました。グリーンコープ共同体の組合員みんなの力で、宮崎に市民発電所が実現します。1月8日に起工式を行い、建設を始めます。また、くまもと、やまぐちでも、理事による候補地への視察や発電方法についての学習など、具体的な検討が進められています。



※1

# おいでんせえ。 そして、つながろう

※1 岡山弁で「いらっしゃい」のこと



ゲストハウス 七月-ななつき-



暖かな日差しいっぱいの庭

## ゲストハウス 七月-ななつき-

お お わ き のぞみ

## 管理人 大脇 望さん

### ●プロフィール

岡山県瀬戸市内在住。  
グリーンコープ生協おかやま組合員

震災から避難してくる  
親子の存在を知って

大脇さんが暮らす地域にも、東日本大震災以降、被災地や関東からたくさんの人が避難のために移住や一時保養をしている。原発事故による被曝を避けるため子ども連れで自主的に避難してきた人も多く、シェアハウスまたはゲストハウスと呼ばれる宿泊施設などを利用する人もいる。

震災当時、長男がお腹の中にいた大脇さんは、小さな子どもを連れて見知らぬ土地へ引っ越してきたお母さんたちが自分の周りに何人もいると知り、他人ごととは思えなかった。「夫と二人で、自分たちができることで何か支援したいと話しながらも、その時はどんなことができるのかさえも分かりませんでした」。

その後大脇さんは、福島の子どもたちを保養のために受け入れる取り組みのボランティアを引き受けるなど、できることを見つけては、まだ1歳にもならない長男を連れて活動に加わった。

### 森の遊び場で 仲間と出会う

長男が歩けるようになる

ると、親子で隣の備前市にあるプレーパークを訪れるようになる。

そこには大脇さんと同じように地域に住むお母さんが小さな子どもを連れて来ていた。プレーパークの周りには避難してきた人たちのためのシェアハウスもあり、そこを利用する親子も自然と言葉を交わすようになる。毎回一緒に遊ぶうちに仲の良いお母さん仲間ができた。その多くは関東から引っ越してきて、身寄りのない土地での子育てに一生懸命だった。

「プレーパーク以外にも、皆が気兼ねなく集まれる場所があるといいね。子どもを遊ばせながらお母さん仲間と話していたある日、近くの家が空くと知り、大脇さんは「その家を皆が集まれる場所にしよう」と夫と相談して譲り受けた。「仲間の親子だけでなく地域の誰もが利用できるコミュニティスペースになり、保養や移住のための足掛かりを見つけたために遠方から訪れる人たちが安価で宿泊もできる、そんな多目的に使える場所を作りたい」。仲間がそう打ち明けると喜んで協力を申し出てくれた。壁塗りや障子張りなど

投稿欄



### 私の好きなグリーンコープ商品

## 本当にお徳な 🌱 焼きずのり徳用

たっぷり30枚入り、味も質も抜群なのにお手頃価格です。「きず」と言っても、どれのことか良くわからない程度なので、うちでは普通にのり巻も作ります。市販品も食べ比べてみましたが、この味・質・量でこの値段は、他ではあり得ないと思いました。チャックシールと大きな乾燥剤付きで、湿気にくいのもありがたいです。封を切っても長持ちします。余ったら、小さく切って、弱火のゴマ油でさつといため、塩をふれば韓国風。ご飯が何杯でもいけます。低カロリーなので、テレビのお供にも安心です。とってもおいしくて、我が家に欠かせない一品です。

グリーンコープ生協くまもと 吉里 安由美

## 投稿募集集中

私の好きな  
グリーンコープ商品

- 250字程度
  - 毎月月末
  - 住所氏名・年齢・TEL・所属生協名を明記して郵送またはFAX、Eメールでお送りください。
  - 掲載分にはグリーン券(グリーンコープ商品の購入に利用できます)500円分を進呈。
  - 住所氏名などの組合員の個人情報には本紙に掲載の場合のみ使用します。
- 〒812-8566  
福岡市博多区博多駅前1丁目5-11  
博多大博通ビルディング3F  
グリーンコープコミュニケーション  
ワーカースタッフ(REN)「共生の時代」  
編集部宛  
FAX 092-4481-17876  
Eメールアドレス  
kiko@greencoop.jp



縁の下は子どもたちのひみつ基地?

多くの仲間の手助けもあり、2014年7月30日、築30年近くの家は、「ゲストハウス七月-ななつき-」(以下、ななつき)として生まれ変わる。大脇さんは自宅から通いながら、その管理人を務めることになった。

### ななつきを地域の拠点に

ななつきは、2階の2部屋と1階奥の1部屋が宿泊スペース、1階の座敷と子ども部屋や台所がコミュニティスペースとなっている。「他の多くのシェアハウスは、避難目的で母子限定というところが多いのですが、ななつきはお父さんも一緒に滞在できるようにしました。震災から4年近く経ち、一時的な避難というよりも、移住も視野に入れて訪れる人が増えていくと感じます。お父さんも一緒に来て今後を考えたという希望もあるようです。そのような思いを受け止められる場所になればと思います」と大脇さん。この夏、関東から1家族が保養を目的に1週間滞在した。

大脇さんは「ななつきを地域に住む方たちにもたくさん利用してもらいたい、この土地にしっかりと根付くことでつながりを広げていきたい」と言う。毎週月曜日はプレーパークで出会った仲間が集まり、自主保育を行っている。小学校の先生に今の学校のようすを話してもらう会を開いたり、木工が得意なお父さんが子ども用イス作りのワークショップ

ヨップを行ったこともあ。口コミやインターネットの情報を介して、少しずつ参加者が増えていく。

「生まれ育ったこの岡山が大好きです。遠くから来た人たちの声を聞くことで、また新たな魅力に気付くことができました。ここには豊かな森や海があり、困ったときには助けあう隣近所の温かいつながりもあります。安心して子育てできる環境に恵まれています。新しい家族が引っ越してくることで、地元に住む私たちにはない発想も生まれます。人の数だけ大きな力になると信じています」。大脇さんは少女のようにきらきらと瞳を輝かせて語った。

※2「備前プレーパーク1森の冒険ひみつ基地」。自然豊かな森の中で子どもたちを遊ばせることができる屋外型の子育て支援拠点



# 菜の花物語

## 一番搾りなたね油

昔ながらの圧搾法一番搾り  
丁寧につつた  
こだわりの一品です

炒め物、サラダ、揚げ物と、毎日の料理に欠かせない食用油。だからこそ、品質の良い、安全なものを選びたいですね。  
⑥一番搾りなたね油菜の花物語は、昔ながらの製法で丁寧に作られたこだわりの一品。味にくせがないので、いろんなお料理に使えます。

### なたね油は熱に強く酸化しにくい

なたね油は、アブラナ(別名なたね)の種を搾った油。なたねは種子に豊富な油分を含むので、古くから食用油として使われてきました。熱に強く酸化しにくいので、家庭用の油として最適です。

悪玉コレステロールを減少させる効果のあるオレイン酸が豊富で、\*1 必須脂肪酸であるリノール酸やリノレン酸などもバランスよく含んでいます。

\*1 人体に必要なが体内で作り出すことができない脂肪酸

### non-GM(遺伝子組み換えでない)なたねが原料

原料は、オーストラリア産のnon-GMなたねです。近年オーストラリアでは、バイオ燃料としての需要の増加や、干ばつによる収量不足のため、手間がかからず収量が増えると言われるGMなたねの栽培が広がっています。グリーンコープはGMの栽培を規制している州から輸入した、貴重なnon-GMなたねを使っています。

### 希少な圧搾法の一搾り

圧搾法とは、なたねの種子から油を抽出するために、圧搾機でギューツと圧力をかけて搾り出す方法。⑥一番搾りなたね油は、最初に搾った油だけを使う一番搾り法で生産しています。一般の油と比べると倍量のなたねを使っています。

一般の食用油の多くがGM(\*2 遺伝子組み換え)原料を使用

現在、食用油の原料であるなたねやコーン、大豆、綿実などのほとんどは、輸入に頼っています。これらの作物はGM化が進んでいますが、食用油には「遺伝子組み換え作物使用」の表示が必要ないため、GM原料を使っているのかわからず、消費者にはわかりません。

・日本は食用油の原料としてなたねの約90%をカナダから輸入  
・カナダ産のなたねの約90%がGMO

一般の多くは薬品を使い抽出

一般の油の多くは、石油から精製された溶剤のノルマルヘキサンに、砕いたなたねの種子を浸して油分を抽出します。なたねに含まれるほぼ100%の油を抽出することができ効率的だからです。ノルマルヘキサンは揮発性が高いため、製造過程で加熱することで植物油だけが残りと言われています。

### 丁寧に湯洗いで精製

搾った油は、お湯とクエン酸だけで繰り返し洗い(湯洗い)、不純物を丁寧に取り除きます。

一般の多くは薬品を使い精製  
市販品の多くは、シュウ酸や苛性ソーダを添加して精製します。

### 容器にもこだわります

安全性を考え、光を通さず酸化しにくい、また成分溶出の心配がないスチール缶容器を使っています。

一般の多くはプラスチック容器

プラスチックは油の成分と反応して、成分が溶出しやすいと言われています。



800g



1400g

## 2014年11月の組合員数 389401人

(11/20現在)

リユース、リサイクルデータ 2014年10月分(回収率)	トレー 回収率 54.5%
リユースびん 回収率 54.4%	牛乳びん 回収率 97.1%
モールドバック 回収率 102.7%	仕分け袋 回収率 9.0%

### アジア民衆基金

2014年11月に組合員の利用によってたまったのは

530,251円

2009年4月からの累計は 39,765,717円

### フードマイレージ

2014年11月に組合員の利用によって貯まったのは

6,576,983.2

poco

CO<sub>2</sub>に換算して658トン削減したことになります

2009年9月からの累計は、355,007,847.5ポコ

フードマイレージとは

国産のものを食べることによって削減されるCO<sub>2</sub>をポコという単位で数値化。CO<sub>2</sub>100g=1ポコ(poco)。ポコの数値が大きくなるほど食料自給率の向上や環境を守ることに繋がる。

個人が貯めたフードマイレージの値は納品書に記載しています

### ⑥一番搾りなたね油菜の花物語は

#### ● 何度も使えて経済的!

抽出や精製に薬品を使わないので、油に負担がかからず、コシの強い油ができます。揚げ物などに使った後も、新しい油を加えるとコシが戻ります。



#### ● 少量でカラッと揚がる!

なたね油は高温に強い性質があるので、揚げ物がカラッとおいしくできます。

#### ● くせがないからお菓子やドレッシングにも!

くせがなく淡白な味わいなので、どんな料理にも合います。



なたね油で作ったケーキはしつとり、おいしい!





みどりの地球をみどりのままで...

グリーンコープ

共生の時代

別紙

放射能汚染と向きあう (放射能測定室より)

発行 グリーンコープ共同体理事会 編集 共生の時代・編集部 〒812-8561 福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号 電話 (092) 481-7923 FAX (092) 481-7876 博多大博通ビルディング3階 ホームページ: http://www.greencoop.or.jp/

東京電力の原子力発電所の事故を受けて行った残留放射能検査結果(44)

2014年11月11日から12月8日(一部11月11日以前の測定分を含む)までに312品目の検査をしました。

「6897 干しいも」からグリーンコープのアクション基準(10ベクレル/kg)以下の残留放射能が検出されました。また「九州産どんこ椎茸」では「6929 九州産どんこ椎茸(乾物)」でアクション基準を超えて、「6930 九州産どんこ椎茸(水戻し)」ではアクション基準以下の残留放射能が検出されました。

厚生労働省の「食品の放射性物質に係る基準値の設定」では、「食用に供する状態(お茶は抽出液、乾し椎茸は水戻し)で行う」となっていることから、グリーンコープでは(水戻し)の検査結果を基準としています。食用に供する状態でグリーンコープのアクション基準(10ベクレル/kg)を超えた場合は、供給の是非をグリーンコープ共同体理事会で検討することにしています。

- ※「検出限界値」とは、放射能検査において測定できる最小値のことをいいます。放射能の特性として、同じ機器で測定しても検体ごとに検出限界値は変動します。
※検査法の記号「Ge」はゲルマニウム半導体検出器での測定であることを示しています。「Na」はNaIシンチレーションスペクトロメータでの測定であることを示しています。
※原料産地欄の案内は、単一原料もしくは主たる原料が明らか場合はその原料の産地を表現しています。パンは菓子パンも含めて小麦の産地を記載しています。
また、複数の原料で、主たる原料がわかりにくいもの、もしくは産地が多岐にわたる場合は原料産地に「――」(横線)を記載しています。
※2013年度の新米から西日本地区の産地のお米は産地単位の測定に変更となっています。東北の米は従来どおり産地毎・品種毎の測定です。
※下記一覧表の結果の「検出せず」は、検出限界値を超えての検出はなかったことを表しています。

Table with columns: 番号, 商品分類, 商品名, 原料産地, 製造地, 製造日・収穫日等, 測定日, 検査法, 検査結果 (ヨウ素-131, セシウム-134, セシウム-137) with 312 rows of data.



\*下記一覧表の結果の「検出せず」は、検出限界値を超えての検出はなかったことを表しています。

Table with columns: 番号, 商品分類, 商品名, 原料産地, 製造地, 製造日・収穫日等, 測定日, 検査法 (Ge/NaI), ヨウ素-131 (結果, 検出限界値), セシウム-134 (結果, 検出限界値), セシウム-137 (結果, 検出限界値). Rows include various food items like fish products, vegetables, and processed goods with their respective radiation test results.

※下記一覧表の結果の「検出せず」は、検出限界値を超えての検出はなかったことを表しています。

Table with columns: 番号, 商品分類, 商品名, 原料産地, 製造地, 製造日・収穫日等, 測定日, 検査法 (Ge/NaI), 検査結果 (結果, 検出限界値), 検査結果 (結果, 検出限界値), 検査結果 (結果, 検出限界値). Rows include various food items like 冷凍加工品, 常温加工品, 菓子類, etc.

検査結果については、ホームページでも週に一度のペースでお知らせします。表記についてもホームページと同様にしています

●放射性セシウムの基準値について

2012年4月からの国の基準は、一般食品100ベクレル/kg、乳児用食品・牛乳50ベクレル/kg、飲料水10ベクレル/kg以下です。

●グリーンコープでの放射能検査内容と報告について

検査対象 グリーンコープでは、商品や原料について放射能汚染が心配される地域は関東から東北地方が中心であるものの、必ずしもエリアを限定して考えるべきではないという判断で、また利用される組合員の心配に対応するためにも検査対象を全国に広げています。

検査対象 2011年3月11日以降に、生産・製造・保管されていた商品及び原料を順次検査しています。定期的なサイクルで検査を行えるよう年間計画を立てて検査します。

検査機関 2011年10月よりグリーンコープ放射能測定室（福岡市）で検査を開始しました。ただし、グリーンコープ放射能測定室で検査可能な品目数を超えた場合などは、これまでと同様に外部機関に検査を委託することもあります。

検査日 検体を測定した日を記入しています。

検査結果の表記 ヨウ素131とセシウム134、セシウム137の3種類について結果をお知らせします。検出限界値未満の結果については「検出せず（検出限界値未満）」と表記します。「検出限界値」とは、測定において検出できる最小のことをいいます。放射能の特性として、同じ機器で測定しても検体ごとに検出限界値は変動します。